―――― 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ――――

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	電話 大阪	06(586)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	電話 堺	0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	電話 高槻	0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	電話 河内	0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	電話 神戸	078(360)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1番地	電話 京都	075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	電話 奈良	0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	電話 和歌山	0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8	電話 姫路	0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	電話 豊岡	0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	電話 草津	0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	電話 彦根	0749(22)3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4	電話 長浜	0749(62)7171
本社・ガスビル サービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	電話 大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

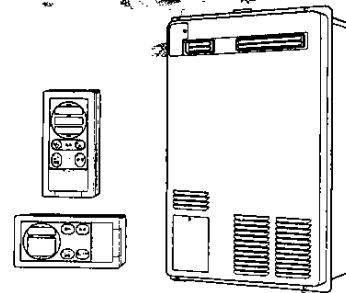
Y0494-0

大阪ガス

ガス給湯暖房機 エックスプリオール・オート PRIORO AUTO

44−980／981／982／983／984型

取扱説明書 保証書付

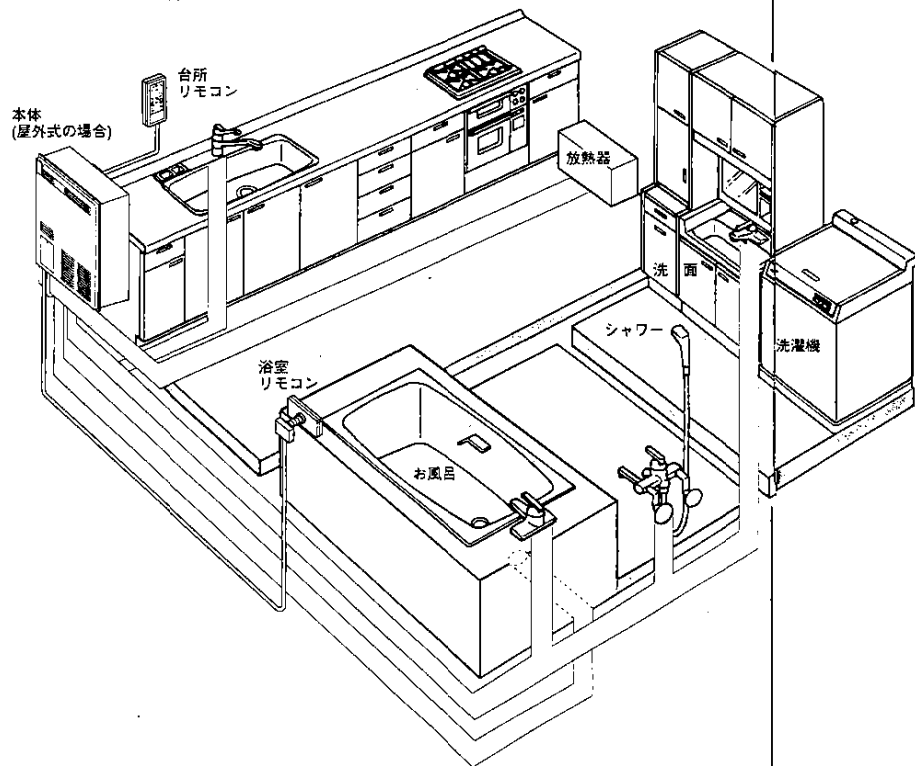
型　式 AT−364RA−AQ
AT−364RA−AQ−C
AT−364RA−AQ−D
AT−364RA−AQ−E
AT−364FA−AQ

このたびは、大阪ガスの給湯暖房システム「エックスプリオール・オート」をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

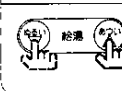
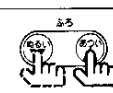
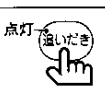
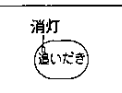
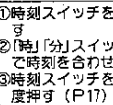
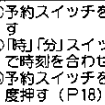
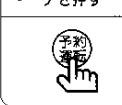
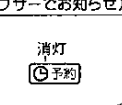
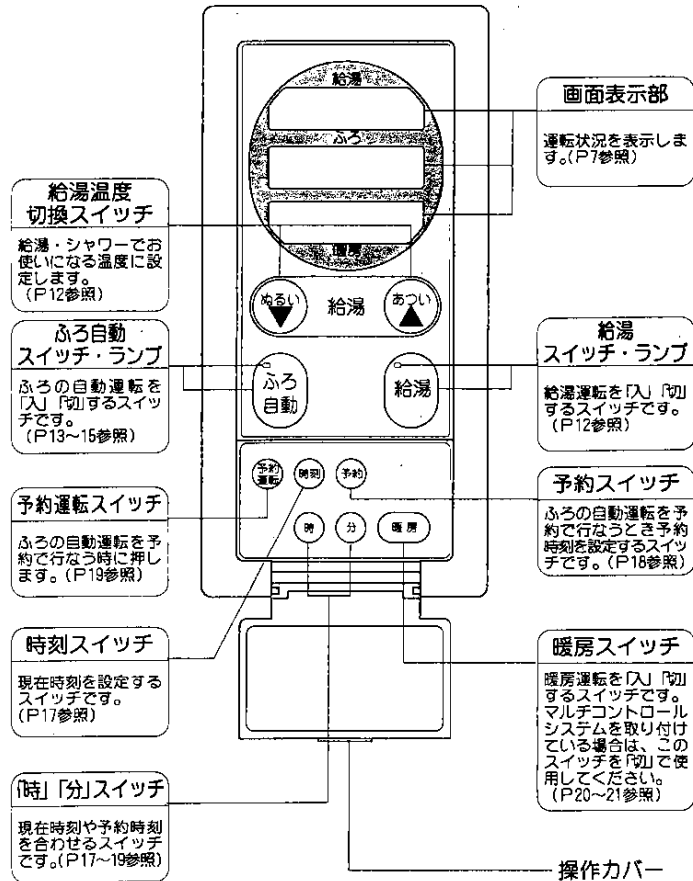
- ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合せください。
- 別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

特長

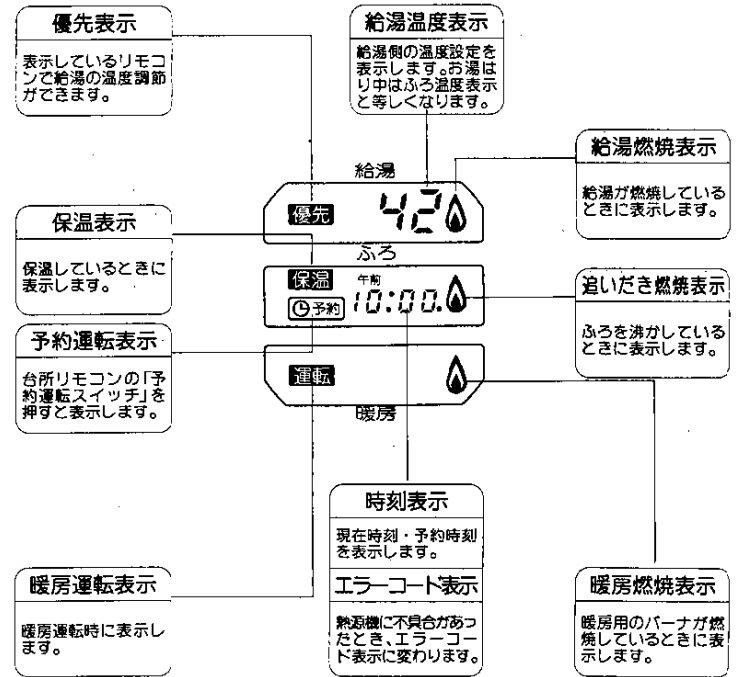
- 給湯能力２４号のビッグパワーで２ヵ所同時使用でもたっぷり出湯!!
- ふたをしたままお湯はり・保温・足し湯の全自動!!
- 快適暖房!!

  お部屋の温度に応じた暖房水温度で室温安定時は省エネ運転します。

  暖房は温水利用でお部屋の空気を汚しません。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします!!
- ２階浴そうへのお湯はりが可能!!

もくじ

早見表

給湯運転
スイッチひとつの簡単操作。
湯温の設定も手軽にできます。(P12参照)
1 給湯スイッチを押す
点灯
給湯
優先表示確認
2 給湯温度を調節する
ぬるい
給湯
あつい
点火
3 給湯栓を開ける
給湯栓
消火
4 給湯栓を閉める
給湯栓
ふろ運転
自動運転
お好みの湯温・湯量をお湯はりできます。(P13～15参照)
点火
1 ふろ自動スイッチを押す
点灯
ふろ自動
2 お湯はり水位を設定する
水位
3 ふろ温度を調節する
ふろ
ぬるい
あつい
消火
お湯はり完了
(ブザーでお知らせ)
ふろ自動
4時間、保温、足し湯を続けます。
追いだき運転
お湯がぬるくなったときに使用します。(P16参照)
1 ふろ温度を設定する
ふろ
ぬるい
あつい
点火
2 追いだきスイッチを押す
点灯
追いだき
設定温度＋2℃になると
消火
追いだき完了
消灯
追いだき
予約運転
タイマーをセットしておくと予約時刻にお湯はり完了。帰宅後もすぐにおふろに入れます。(P17～19参照)
1 現在時刻を合わせる
①時刻スイッチを押す
②「時」「分」スイッチで時刻を合わせる
③時刻スイッチを再度押す（P17）
2 予約時刻を合わせる
①予約スイッチを押す
②「時」「分」スイッチで時刻を合わせる
③予約スイッチを再度押す（P18）
3 予約運転スイッチを押す
予約運転
点火
セットした時刻に近づくと…
予約時刻にお湯はりが完了するように、運転を開始します。
消火
お湯はり完了
(ブザーでお知らせ)
消灯
予約
暖房運転
お部屋の温度に応じた温水利用で快適暖房ができます。(P20～21参照)
運転
マルチコントロールシステムでない場合のみ
1 暖房スイッチを押す
暖房
2 放熱器の運転スイッチを入れる
「入」
停止
マルチコントロールシステムでない場合のみ
3 暖房スイッチを押す
暖房
4 放熱器の運転スイッチを切る
「切」

早見表

各部のなまえ

●台所リモコン

●画面表示部（台所リモコン）

●「給湯温度」の表示は温度設定の目安です。

※上記画面表示は説明のため、全部表示したものです。実際の運転のときは該当部分が表示されます。

各部のなまえ

●浴室リモコン

画面表示部
運転状況を表示します。(P9参照)

優先 スイッチ・ランプ
浴室リモコンで給湯温度を設定するときに「入」にします。(P12参照)

給湯 スイッチ・ランプ
給湯運転を「入」「切」するスイッチです。(P12参照)

給湯温度 切換スイッチ
給湯・シャワーでお使いになる温度に設定します。(P12参照)

ふろ温度 切換スイッチ
ふろを自動運転、追いだきするとき適切な温度に合わせます。(P14・16参照)

優先　給湯　給湯　ぬるい　あつい　ふろ　ぬるい　あつい　水位　ふろ 自動　追いだき　呼出　メンテ

操作カバー

ふろ自動 スイッチ・ランプ
ふろの自動運転を「入」「切」するスイッチです。(P13～15参照)

追いだき スイッチ・ランプ
ふろの追いだき運転を「入」「切」するスイッチです。(P16参照)

水位設定スイッチ
ふろの自動運転時に水位を設定するスイッチです。(P13参照)

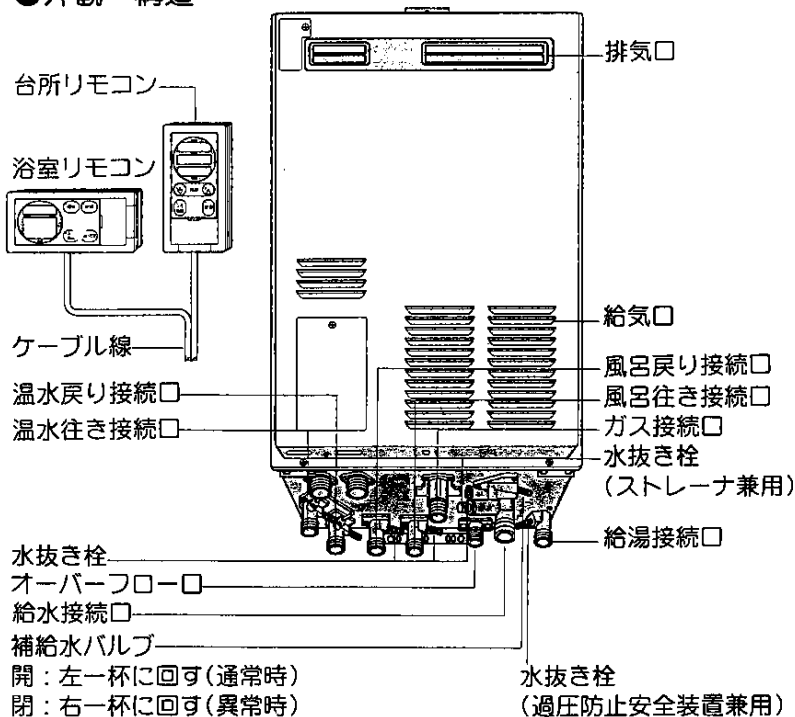
呼出スイッチ
押すと台所リモコンのブザーがなります。ご自由にお使いください。

メンテスイッチ
過去のエラー表示を確認するスイッチです。(P27参照)

●画面表示部（浴室リモコン）

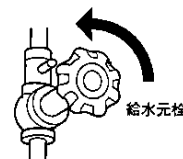
●「給湯温度」「ふろ温度」の表示は温度設定の目安です。
※上記画面表示は説明のため、全部表示したものです。実際の運転のときは該当部分が表示されます。

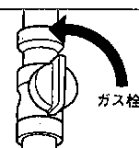
各部のなまえ

●外観・構造

屋外設置・PS設置形以外に下記の種類があります。

	品　番	型　式　名
屋内設置形	44−984型	AT−364FA−AQ
扉内設置形	44−981型	AT−364RA−AQ−C
前方排気延長形	44−982型	AT−364RA−AQ−D
後方排気延長形	44−983型	AT−364RA−AQ−E

使いかた―準　備

1 給水元栓を全開にする

2 給湯栓を開け、
①水の出ることを確認し、
②閉める

3 ガス栓を全開にする

4 熱源機用のブレーカを
「入」にする

5 ふろ自動スイッチを「入」にする

浴そうに湯の出ることを確かめ、
再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

6 時刻設定をする

P17に従って時刻を合わせます。

使いかた—給湯のしかた

1 給湯スイッチを押す

●台所リモコン・浴室リモコンのどちらかの給湯スイッチを押す。

●給湯温度は、前回設定の温度を表示します。

2 給湯温度切換スイッチを押して温度を調節する

●温度切換は、約38℃～約47℃の間および約60℃で調節できます。
●給湯温度切換スイッチを押し続けると、連続的に変わります。

●必ず「優先」表示の点灯確認をしてから温度の調節をします。「優先」表示がされていないリモコンでは温度調節はできません。

〈台所リモコンで調節する場合〉

●お好みの温度に調節します。
「優先」表示が消えている時は、浴室リモコンの優先スイッチを押し、台所リモコンへ優先を戻します。

〈浴室リモコンで調節する場合〉

●お好みの温度に調節します。
「優先」表示が消えている時は、浴室リモコンの優先スイッチを押します。

3 給湯栓を開ける

●給湯側の「🔥」が表示しお湯が出ます。
●エラーコード「１１１」が表示しているときは、一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、開栓します。

給湯栓

4 給湯栓を閉める

●バーナが消火し、給湯側の「🔥」が消えます。

燃焼用送風機は、バーナ消火後、約５分で停止します。

ご注意

●お湯はり中、給湯すると　➡　お風呂と同じ温度の湯が出てきます。

使いかた—自動運転のしかた

●自動運転の機能・原理は１５ページを参照してください。
●浴そうの排水栓を閉じてください。
●浴そうにフタをしてください。

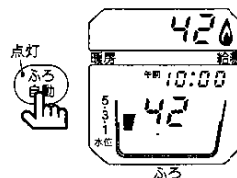
点　火

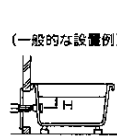
1 ふろ自動スイッチを押す

●ふろ自動ランプが点灯し、自動運転に入ります。
●エラーコード表示「１１１」が表示する場合、ふろ自動スイッチを「切」にし、再度「入」にします。

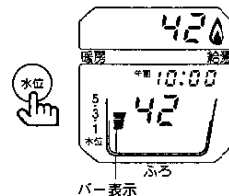
ご注意

●給湯使用中に、ふろ自動スイッチを「入」にしたとき自動運転にならない場合があります。この場合給湯栓を閉めますと、自動運転を開始します。
●自動運転中に「🔥」が表示したり消えたりしますが異常ではありません。

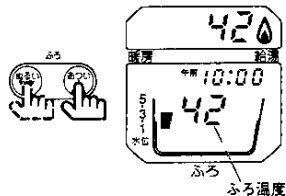
使いかた

2 浴室リモコンでお湯はり水位を設定する

●水位設定スイッチを押し、適切な湯量になる数字にバー表示を合わせます。
バー表示は押すごとに水位は上がり、「5」までくると下がります。
●右表の数字で一度運転し、水位が高いときは小さな数字に、水位が低いときは大きな数字に合わせて、翌日試してください。

水位設定 目盛	H寸法(cm) 目安
5	約４０
・	約３３
3	約２７
・	約２０
1	約１４

ご注意

●浅い浴そうのとき
➡水位を高くするとあふれることがあります。また、浴そうの形により、水位は多少変わります。

使いかた　自動運転のしかた

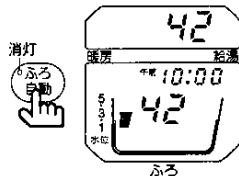
3 浴室リモコンで
ふろ温度を設定する

- 適切な温度に合わせます。
約35℃～約50℃の間で調節できます。

消　火

設定した水位・温度になると自動的に消火し、ブザーでお知らせします。(「保温」が表示され、4時間、保温・足し湯を続けます。)

途中で消火したい場合
または自動運転を止める場合

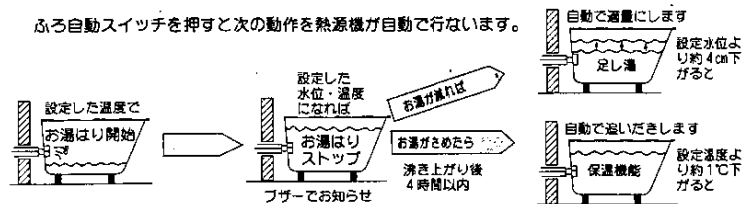
4 ふろ自動スイッチを押す

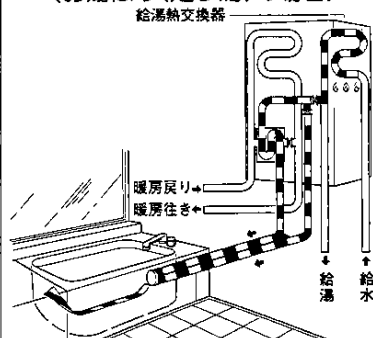
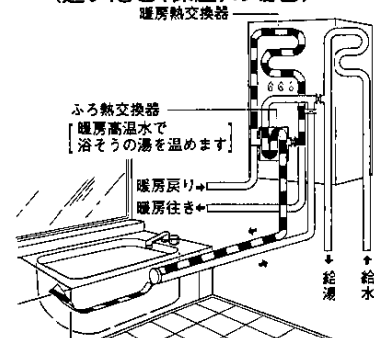
- ふろ自動ランプが消えます。

ご注意

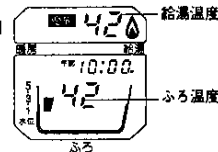
- お湯はり中は
➡水や空気を吸う音が出ることがあります。異常ではありません。
- お湯はり中、給湯するとき
➡湯温はふろ温度と同じになります。温度調節したいときは、お湯はりを止めてから行なってください。
- 入浴するとき
➡必ず湯をかきまぜて温度を確かめてください。

知っておきたいこと

自動(お湯はり・保温)運転とは

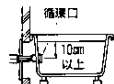
ふろ自動スイッチを押すと次の動作を熱源機が自動で行ないます。

自動運転の原理

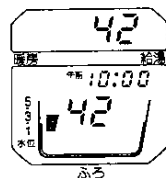
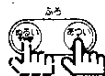
〈お湯はり(足し湯)の場合〉　〈追いだき(保温)の場合〉

給水された水が「給湯熱交換器」を通り、湯となって浴そうへお湯はりします。

浴そうからの戻り湯が「ふろ熱交換器」を通り、再び浴そうへ高温の湯を循環させます。

- お湯はり時は、「給湯熱交換器」が働くため、リモコンの「給湯温度」は「ふろ温度」に等しくなります。

保温・足し湯運転中は

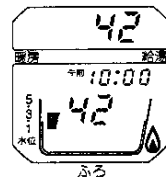
- 湯温検知は10分毎にポンプで循環して行ないます。
- 自動運転は、設定した水位・温度でお湯はり完了後4時間後に、自動的に停止します。
(ふろ自動ランプと保温表示が消えます。)

使いかた 追いだきのしかた

入浴時など湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。
● 浴そうの循環口より10cm以上水が入っていることを確認してから操作してください。

1 浴室リモコンで ふろ温度を設定する

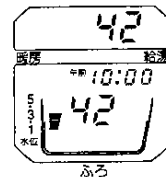
● 約35℃～約50℃の間で調節できます。

点　火

2 追いだきスイッチを押す

● 追いだきランプが点灯し、ふろ側の「 」が表示し、追いだきをはじめます。
● エラーコード「113」が表示する場合、追いだきスイッチを「切」にし、再度「入」にします。

消　火

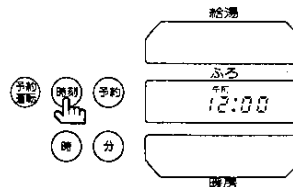
● 設定したふろ温度より約2℃高い温度まで沸き上がると自動的に消火します。

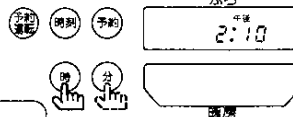
3 途中で消火したい場合 追いだきスイッチを押す

● 追いだきランプとふろ側の「 」表示が消えます。

使いかた 現在時刻の合わせかた

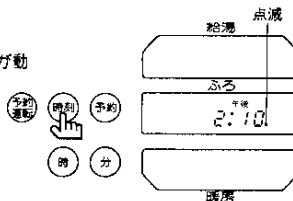
● 台所リモコンの操作カバーを開けて行なってください。
● 電源が「入」の状態で「0 00」を点滅します。
● 各スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。

1 時刻スイッチを押す

● 「午前12：00」が点滅します。

2 現在時刻を合わす

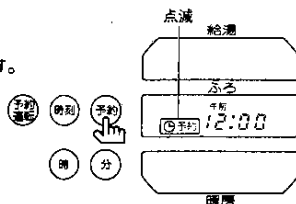
(例：現在時刻が、午後2時10分の場合)
● 「時」スイッチを押して「午後2：00」にします。
次に「分」スイッチを押して「午後2：10」にします。

● 「時」「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

3 時刻スイッチを押す

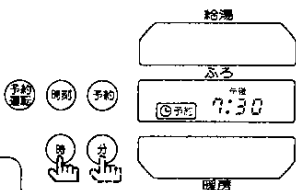
● 時刻表示が点滅から点灯に変わり、時計が動きはじめます。
● 時刻表示の右下の「●」が点滅します。

使いかた―予約時刻の合わせかた

- 予約時刻とは「お湯はり」がほぼ完了する時刻をいいます。
- 台所リモコンの操作カバーを開けて行なってください。
- 現在時刻を合わせていないと、予約時刻はセットできません。

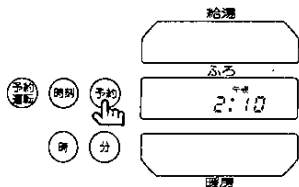
1 予約スイッチを押す

- 「午前１２：００」と「[予約]」が点滅します。
- 予約時刻をそのまま(約15秒以上)にしておきますと予約時刻はセットされ自動的に現在時刻にもどります。

2 予約時刻を合わす

（例：予約時刻が、午後7時30分の場合）

- 「時」スイッチを押して「午後７：００」にします。次に「分」スイッチを押して「午後７：３０」にします。

- 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々１時間、１分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

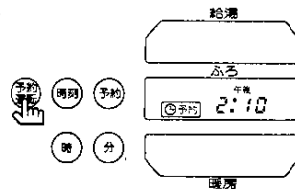
3 予約スイッチを押す

- 現在時刻に変わると同時に予約時刻がセットされます。

使いかた―予約運転のしかた

予約運転前に次のことを確認してください。

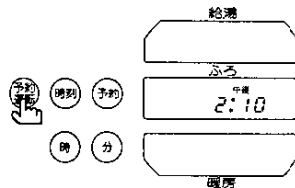
- 浴そうの排水栓を閉じてください。
- 浴そうにふたをしてください。
- お湯はり水位とふろ温度を確認してください。
  （自動運転で設定した水位と、湯温になります。）
- 現在時刻・予約時刻を合わせてありますか。

1 予約運転スイッチを押す

- 「[予約]」が表示します。
- 予約時刻近くになると運転を始めます。

- 予約時刻に「お湯はり」がほぼ完了します。

途中で取り消す場合

2 予約運転スイッチを押す

- 「[予約]」表示が消えます。

予約運転とは

- 予約時刻に「お湯はり」がほぼ完了することをいいます。
- 予約時刻になると、ブザーでお知らせします。
- 予約運転設定中(熱源機が動きだすまでの間)はふろ自動スイッチ、追いだきスイッチを押してもスイッチは入りません。
- 予約運転設定中でも「給湯」は使用できます。
  この場合「お湯はり」が完了する時刻が遅くなる場合があります。
- 予約時刻を忘れた場合は、予約スイッチを押すと確認できます。

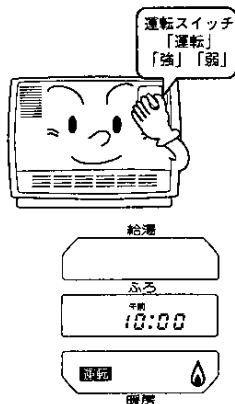
使いかた――暖房のしかた

運転（マルチコントロールシステムの場合）

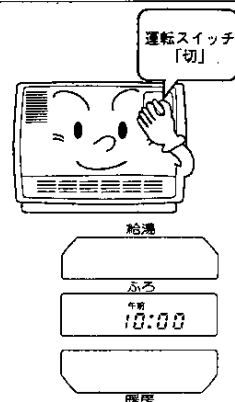
台所リモコンの暖房スイッチは「切」のまま使用してください。

1 放熱器の運転スイッチを入れる

- 台所リモコンの「運転」と「🔥」が表示され、暖房運転をはじめます。
- 台所リモコンのエラーコード表示「１１３」が表示している場合、すべての放熱器を「切」にし、しばらく待ってから放熱器を「入」にしてください。

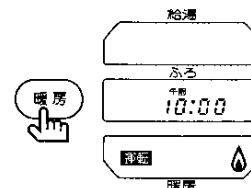
停止

2 放熱器の運転スイッチを切る

- 台所リモコンの「運転」と「🔥」が消えます。

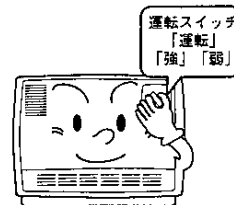
> 運転スイッチはゆっくりと操作してください。
> 急に「切」にすると「コトン」という音がすることがあります。

※詳しくは、放熱器の説明書を参照してください。

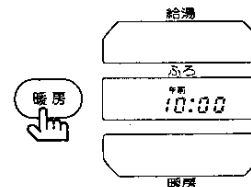
運転（マルチコントロールシステムでない場合）

1 台所リモコンの暖房スイッチを押す

- 「運転」と「🔥」が表示され、自動的に熱源機が運転します。

2 放熱器の運転スイッチを入れる

- しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出てきます。

停止

3 台所リモコンの暖房スイッチを切る

- 「運転」と「🔥」が消えます。

4 放熱器の運転スイッチを切る

必ずお守りください

安全のために

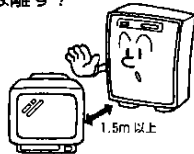
■ 給湯以外には使用しない！

■ 器内に長時間たまっていた水は飲まない、調理に使わない！

■ 火傷に注意！
（使用中や消火直後は、絶対に触れない）

■ 雷のとき使わない！
（ブレーカを「切」にする）

■ 雑音防止のためテレビやラジオとは離す！

■ ご確認を！
- 入浴時、シャワー使用時は必ず湯温を確認し、使用してください。
- 同時に他の給湯栓を使うと湯温がぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。

■ 混合水栓を使用の場合！
- ときどき水だけを流してください。
給水側の水が長い間流れないと一瞬、にごった湯（赤水など）が出る場合があります。
- サーモミキシングバルブを使うとき
リモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め（3～5℃）にしてご使用ください。
- 出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選んでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。

■ 夏期などぬるめのお湯が出ないとき
- 夏期は水温が高いため、湯量を多くしてお使いください。

■ 故障に注意！
- この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しないでください。
- 硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んでください。

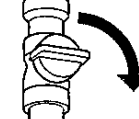
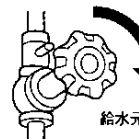
停電・断水のときは

1 給湯栓を閉める

2 〈断水のみ〉
リモコンのスイッチを「切」にする

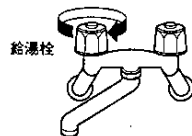
長期間・長時間使用しないときは

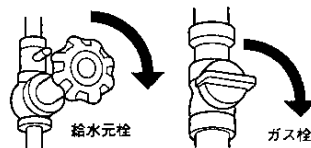
1 リモコンのスイッチを「切」にする

2 ガス栓を閉める

〈長期間のみ〉
3 給水元栓を閉める

水抜きを行なう（☞33ページ）

異常のときは

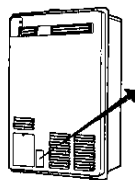
異常燃焼、臭気、異常音を感じたとき
地震、火災のとき

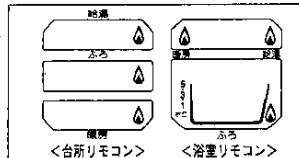
1 給湯栓を閉める

2 リモコンのスイッチを「切」にする

3 給水元栓・ガス栓を閉める

4 お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡を！

必ずお守りください

使用ガス・電源

■ 必ず銘板のガス・電源を使う！

ガス事故防止のために

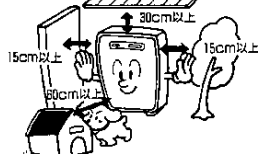
■ 燃焼状態を確認する！

点火時、消火時、使用中、リモコンの燃焼表示点灯を確かめる。

■ ガス漏れに気づいたとき！

すぐ使用をやめ、給水元栓とガス栓を閉じ、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社に連絡を。

絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入」「切」などをしない。

火災防止のために

■ 壁や可燃物から十分離す！

■ 近くに燃えやすいものを置かない！

給排気口をおおわない！

ご確認を

■ 使用後は
➜リモコンのスイッチを切る。

■ お出かけや、お休みのときは
➜ガス栓を閉める。

設置場所の確認を

この熱源機は屋外設置形ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをすることもおやめください。(44−984型は除く)

故障かな？

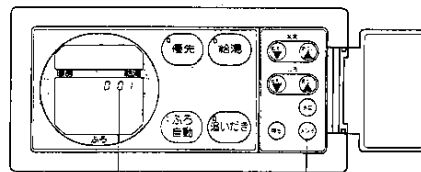
●停電・断水・ガスの供給が停止した時

	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	〈停電時〉 ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 〈通電後〉 ●使いかた(☞12ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●運転は、停止します。 ●給湯栓を閉じてください。 ●給湯スイッチを「切」にしてください。 〈再通水後〉 ●使いかた(☞12ページ)によりご使用ください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 ●給湯スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(☞12ページ)によりご使用ください。
ふろ自動運転	〈停電時〉 ●運転は、停止します。 〈通電後〉 ●使いかた(☞13〜15ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●運転は、停止します。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 ●エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後27ページに従ってください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止します。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(☞13〜15ページ)によりご使用ください。
ふろ追いだき	〈停電時〉 ●運転は、停止します。 〈通電後〉 ●使いかた(☞16ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●通常は、正常運転します。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止します。 ●追いだきスイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(☞16ページ)によりご使用ください。
暖房	〈停電時〉 ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈通電後〉 ●使いかた(☞20〜21ページ)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●通常は、正常運転します。 ●エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は、お近くのガス会社に連絡してください。	〈供給停止時〉 ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチ、暖房スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使いかた(☞20〜21ページ)によりご使用ください。

故障かな？

●故障・異常の見分け方、処置方法

症状	ご確認ください
運転(燃焼)しない	●ブレーカが「入」になっていますか。 ●ガス栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水していませんか。 ●凍結していませんか。 ●配管に空気が残っていませんか。 ➡点火操作をくり返す。 ●水ストレーナが詰まっていませんか。(☞30ページ)
お湯があつくならない	●ガス栓が全開になっていますか。 ●湯と水の量の調節は適切ですか。
低温の湯が出ない	●給水元栓が全開になっていますか。 ●水ストレーナが詰まっていませんか。(☞30ページ)

処置方法や原因がわからないときは、お買い上げの販売店またはガス会社へご連絡ください。

エラーコードについて

不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。メンテスイッチを約2秒以上押すと、画面表示部に過去のエラーコードを呼び出せます。

下記のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。それでも同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

表示	原　因	処　置　方　法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したため。	追いだきスイッチまたはふろ自動スイッチを押しなおしてください。
032	浴そうの栓を完全にしていないため。	ふろ自動スイッチを「切」にして、栓をしっかり閉めて再度「入」にしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	
113	ふろ側（暖房側）の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、追いだきスイッチ(またはふろ自動・暖房)を押しなおしてください。(マルチコントロールシステムの場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。)
723	ふろ側（暖房側）の回路に異常がおきたため。	
432	浴そうからお湯があふれているため。	ふろ自動スイッチを「切」にして水位設定を低くして再操作してください。
412	お湯はり中に断水したため。	再通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。

上記以外の表示がでる場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。

故障かな？

●次のような場合は故障ではありません。

現　象	理　由
寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約５分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
長時間、給湯を使っていると火が消える	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
お湯はり中に浴そうの循環口から空気が出て、「ボコボコ」と音がする	お湯はり中のお湯の流れにより空気を吸い込んでいるためです。
お湯はりを約40分間、連続して使用すると、火が消えて運転を停止する	浴そうの栓の閉め忘れの時などにはたらきます。
暖房運転中「🔥」がついたり消えたりする	お部屋の温度に応じて「🔥」がついたり消えたりします。

異常時には安全装置が働きます

■給湯バーナの炎が消えた場合……給湯立消え安全装置
■暖房(ふろ)バーナの炎が消えた場合……暖房立消え安全装置
■暖房回路の水が万一極端に減った場合……空だき防止装置(暖房)
■空だきした場合……空だき安全装置(給湯・暖房)
■熱源機の温度が異常に上昇した場合……過熱防止装置
■電気回路に漏電が生じた場合……漏電安全装置
■過電流が流れた場合……電流ヒューズ
■熱源機内の水圧が異常に上昇した場合……過圧防止安全装置

上記の安全装置が働いた場合	リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。

日常の点検とお手入れ

お手入れの方法

本　体

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。

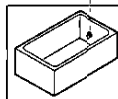
リモコン

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。

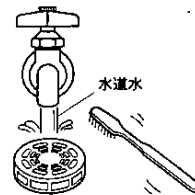
浴そうフィルター

ゴミや湯あかなどをそのままにしておくと目詰まりを起こし熱源機の異常の原因となります。次の要領で定期的に行ってください。

1 浴そうフィルターをはずす

まわしてはずす。

フィルターキャップ　浴そうフィルター

浴そうフィルター

2 歯ブラシなどで洗う

3 もとのように取り付ける

フィルターキャップ　浴そうフィルター

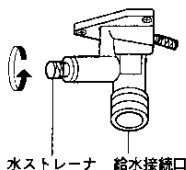
まわしてとりつける。

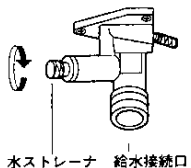
日常の点検とお手入れ

お手入れの方法

給水側水ストレーナ

次の要領で定期的に行ってください。

1 給水接続口にある水ストレーナをはずす

2 歯ブラシなどで洗う

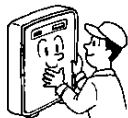
3 もとのように取り付ける

点検の方法

■ 熱源機の異常音は？

■ 外観に異常は見られませんか？

■ 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？

定期点検のおすすめ

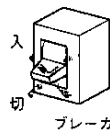
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

凍結予防のしかた

- 凍結すると熱源機や給湯配管が破損して、水漏れや、熱源機が異常をおこすことがあります。
- 凍結予防ヒータ（次項参照）が内蔵されていますが、冷え込みが厳しいときは「方法2」または「方法3」で凍結予防を行なってください。

方法1

給湯・ふろ側

凍結予防ヒータによる自動保温（気温が0℃〜－15℃無風の場合）

●外気温が0℃近くになるとリモコンのスイッチ「入・切」に関係なく凍結予防ヒータのスイッチが入り保温します。

●ブレーカは絶対切らないでください。

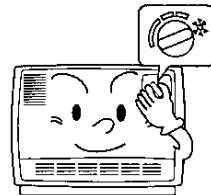
暖房側

ポンプ自動運転

●外気温が0℃近くになりますと熱源機や温水回路内の水が凍結し、破損することがありますので必ず不凍液を注入してください。

●さらに寒さが厳しいときは

1 暖房スイッチを「切」にする。
2 すべての放熱器の運転スイッチを「❄」にする。

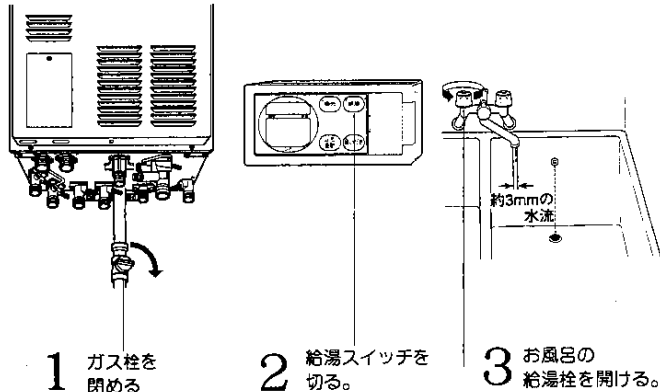
※外気温が下がってきますと自動的に循環ポンプが作動して凍結を予防します。

不凍液について

- 不凍液は大阪ガス指定のものをご使用ください。
- 不凍液は適正濃度を保つため1年に一度、点検が必要です。
  ご相談はお買い上げの販売店または、担当メンテ会社もしくは大阪ガス支社までご連絡ください。

凍結予防のしかた

方法2

給湯栓から水を流す（冷え込みが厳しいとき）

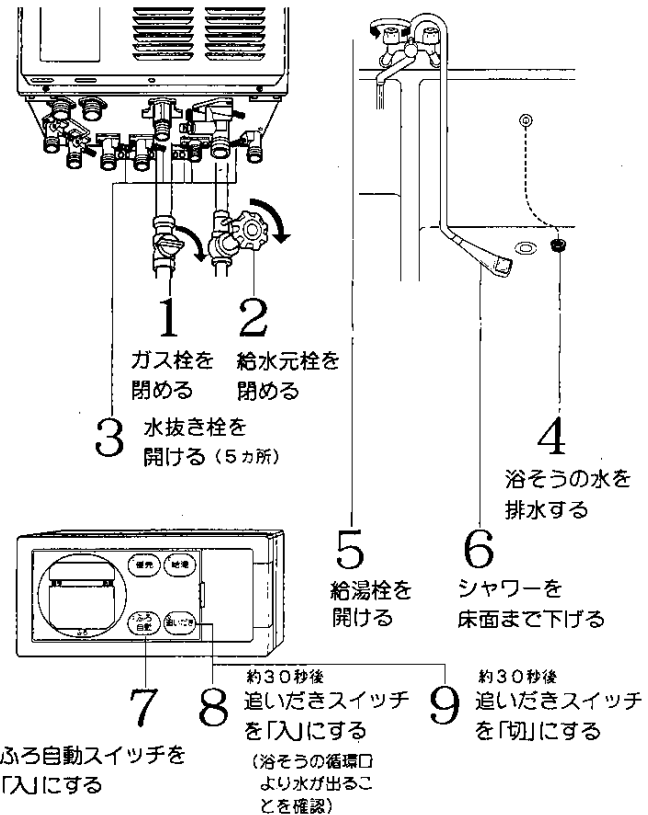
給湯側

約3mmの水流

1 ガス栓を閉める

2 給湯スイッチを切る。

3 お風呂の給湯栓を開ける。

ご注意

- 1分間に200cc程度（約3mm）の水を流し、念のため30分後に流量の確認をしてください。
- ブレーカは「切」にしないでください。（凍結予防ヒータによる自動保温も行なっています。）

ふろ側・暖房側

方法1と同じです。

方法3

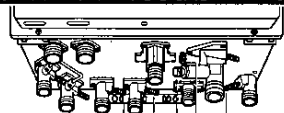
水抜きをする（長期不在のとき）

給湯側・ふろ側

暖房側

方法1と同じです。

凍結予防のしかた

水抜き後の再使用のとき

水抜き栓

1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は１１ページの「準備」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

凍結して水が出ないとき

1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 給湯スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する

※熱源機または配管部に水漏れがないことを確認して使用してください。

ご注意

- 凍結したまま使用しないでください。
- 凍結による修理は保証期間内でも有料です。

配管・バルブの凍結予防

- 「方法3」または「凍結予防ヒータによる保温」では、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、ご注意ください。

仕様

機種名		ガス給湯暖房機	
型式名		AT−364RA−AQ, −C, −D, −E ,	AT−364FA−AQ
品番		44−980, 981, 982, 983	44−984
種類	給湯方式	先止め式	
	暖房方式	温水循環方式	
	給排気方式	屋外強制排気方式	強制給排気方式
設置方式		屋外設置方式	屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火	
外形寸法（mm）	本体	高さ750×幅480×奥行255	高さ750×幅480×奥行300
	台所リモコン	高さ198×幅 96×奥行 21	
	浴室リモコン	高さ 96×幅198×奥行 20	
重量	本体	46kg	50kg
	台所リモコン	0.3kg	
	浴室リモコン	0.3kg	
水圧	使用水圧	1kg／㎠以上	
	作動水圧	0.15kg／㎠	
最低作動水量	給湯	2.0ℓ／分	
	暖房	0ℓ／分以上（締切り使用可）	
	ふろ	3.5ℓ／分	
ポンプ機外揚程	ふろ	5.5mH₂O（5.5ℓ／分のとき）	
	暖房	6.0mH₂O（6.5ℓ／分のとき）	
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式	
	暖房	電子式ガス比例制御およびＯＦＦ制御方式	
温度調節	台所リモコン 給湯	約38℃〜約47℃（1℃間隔）約60℃	
	浴室リモコン ふろ	約35℃〜約50℃（1℃間隔）	
	浴室リモコン 給湯・シャワー	約38℃〜約47℃（1℃間隔）約60℃	
	暖房	約80℃（自動変温システム約80℃〜約70℃〜約65℃）	
給湯量制御方式		水量比例制御方式	
排気ファン制御方式	給湯	負荷による比例制御	
	暖房	負荷による比例制御	
	同時	負荷による比例制御	
安全装置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置 空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置 停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒータ・水量センサー 誘導雷保護装置・漏電安全装置	
消費電力		最大285W	
		凍結予防運転作動時：最大286W	
接続	ガス	R¾オネジ（20A）	
	給水・給湯	20Aソルダー継手付属（G¾）	
	暖房（温水）	15Aソルダー継手付属（G¾）	
	ふろ（追いだき）	10Aソルダー継手付属（R½）	
	オーバフロー	R½オネジ（15A）	
	電気	本体電源　AC100V　60Hz　3心（うち1心アース用）	
		浴室リモコン2心、台所リモコン2心	
	給排気接続口	――――――	給気口φ100・排気口φ100 最大延長7m3曲り
付属品		浴室リモコン（一式）, 台所リモコン（一式）	
BL品番		AT−364RA−AQ	AT−364FA−AQ

仕様

使用ガス 使用ガスグループ		型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h) 全ガス消費量	給湯ガス消費量 最大	給湯ガス消費量 最小	暖房ガス消費量	標準出力(kcal/h) 能力最大時 給湯	追いだき	暖房
都市ガス用	13A	AT-364RA-AQ AT-364RA-AQ-C AT-364RA-AQ-D AT-364RA-AQ-E AT-364FA-AQ	59,800	45,000	4,700	15,000	36,000 (24号)	7,500	12,000
LPガス用			4.75 kg/h	3.65 kg/h	0.39 kg/h	1.19 kg/h	36,000 (24号)	7,500	12,000

		都市ガス用13A	LPガス用
出湯能力(ℓ/min)(能力大)(水圧1kgf/cm²時)	水温+25℃上昇	(24.0)	
	水温+40℃上昇	15.0	

● 給湯能力の( )内は、水温+25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

アフターサービス

アフターサービスのお申し込み

- 25～28ページの 故障かな？ の項を見てもう一度確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または、大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは次のことをお知らせください。

(1)品　名………ガス給湯暖房機
　　　　　　エックス　ブリオール・オート
(2)品　番………正面右下部に貼付してあります。
(3)現　象………エラーコードなど(できるだけ詳しく)
(4)お客様名・住所・電話番号・道順

〈44-980の場合〉

(N) 44-980 (U)
大阪ガス株式会社
744　980　07
(AT-364RA-AQ)

転居される場合

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。ただし、ガスの種類・電気の周波数によっては調整できない場合もあります。

保証・修理について

- 保証期間中には…
  保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。
  保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
  お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
  修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
  この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後１０年です。

大阪ガス

ガス給湯暖房機

44－980／981／982／983／984型

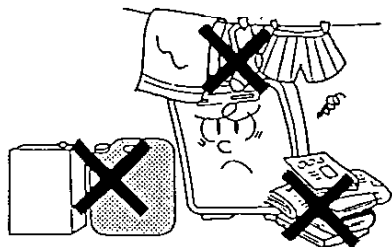
取扱説明書　（折り込み）

この度は、大阪ガスの給湯暖房システム「エックスプリオール・オート」をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

● 別添の取扱説明書とともに、この「折り込み」をよくお読みの上、正しくお使いください。

必ずお守りください

火災防止のために

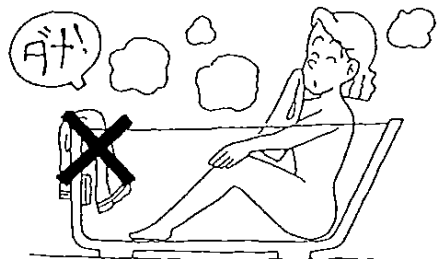
ガソリン・ベンジンなど燃えやすいものを熱源機の近くに置かないでください。

用途の確認

この熱源機は家庭用製品です。業務用には使用しないでください。

ソーラーとの接続について

この熱源機はソーラー機器（太陽熱温水器）との接続はできません。

入浴時のご注意

入浴時には浴そう内の循環口をタオルなどで、ふさがないでください。（故障の原因となります。）

給排気筒接続の確認

給排気が正しく接続されているか確認してください。（外れ・先端のふさぎがあると排気ガスが漏れ大変危険です。）